

A photograph of a cow farm. In the foreground, several black cows are visible in a stall, looking out through a chain-link fence. The stall has a corrugated metal roof and wooden railings. In the background, there is a green hillside with two tall, metal lattice towers. The sky is blue with some white clouds.

小豆島牛もぐもぐプロジェクト ~芝浦工大と力を合わせて世界へ~

プロジェクトの立ち上げ経緯

● 2019 香川と東京圏の大学生対流促進事業の短期プログラムである「うまげな小豆島を感じてみまいVOL2 ～オリーブの島小豆島をデザインする～」に参加
→ 「小豆島を第2の故郷化せよ」のテーマのもと課題解決に取り組み、**第2の故郷になった**ような気持ちになった。

● 2020 芝浦工大の学生から“**学生たちで出来る何かを形にして恩返したい**”との声があがる

土庄町の農林水産課職員より「小豆島オリーブ牛」の広報支援を依頼される

芝浦工大の学生のみで先行して活動を開始

オンライン芝浦祭（大学祭）で小豆島オリーブ牛のPR活動を実施

● 2021 香川大学×芝浦工大の合同チームで本プロジェクトを立ち上げる



小豆島オリーブ牛とは

特徴 1

エサにオリーブの採取後の果実を使用している

→オリーブに含まれるオレイン酸と抗酸化成分のおかげで旨味が強くヘルシー！

特徴 2

小豆地域（小豆島、^{おでしま}小豊島、^{てしま}豊島）で肥育している

→離島の快適な環境のなかでのびのび育てることができる。

特徴 3

循環型農畜産業である

→産業廃棄物として処理していたオリーブの搾り粕を、牛の飼料として無駄なく利用。また、牛の糞をオリーブの肥料として利用することで「カーボン・ファーミング」を実施可能に。

カーボン・ファーミング：土壌の質を向上させることによって温室効果ガスの排出削減を目指す手法



■小豆島オリーブ牛の抱える問題

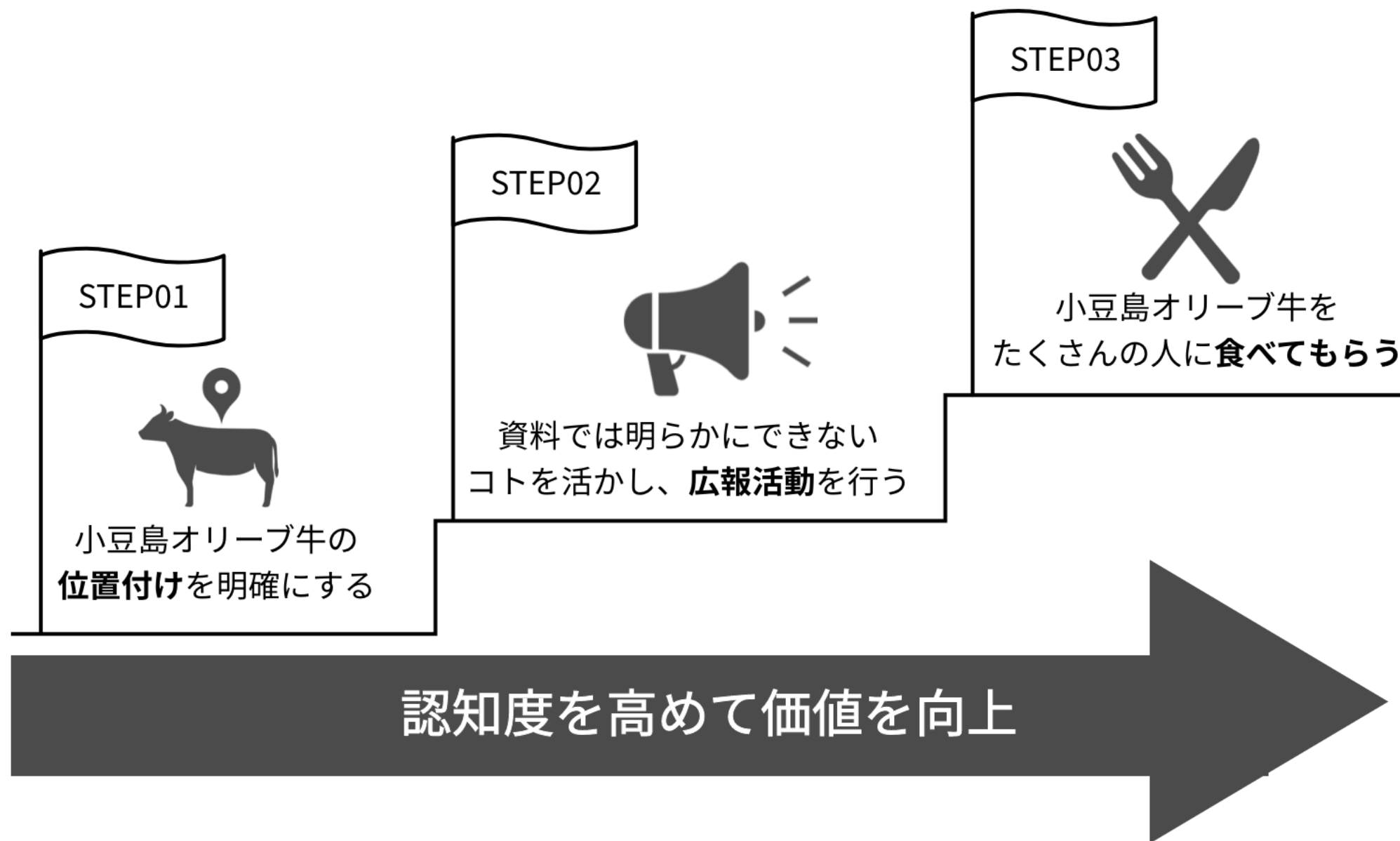


コロナ禍によって消費と売上が減少してしまっている

消費拡大をしたい、だけど生産数が限られているから増産は難しい

だから...認知してもらい価値を高めたい^{!!}

目的達成に必要なステップ



■現時点の活動内容①

-資料収集

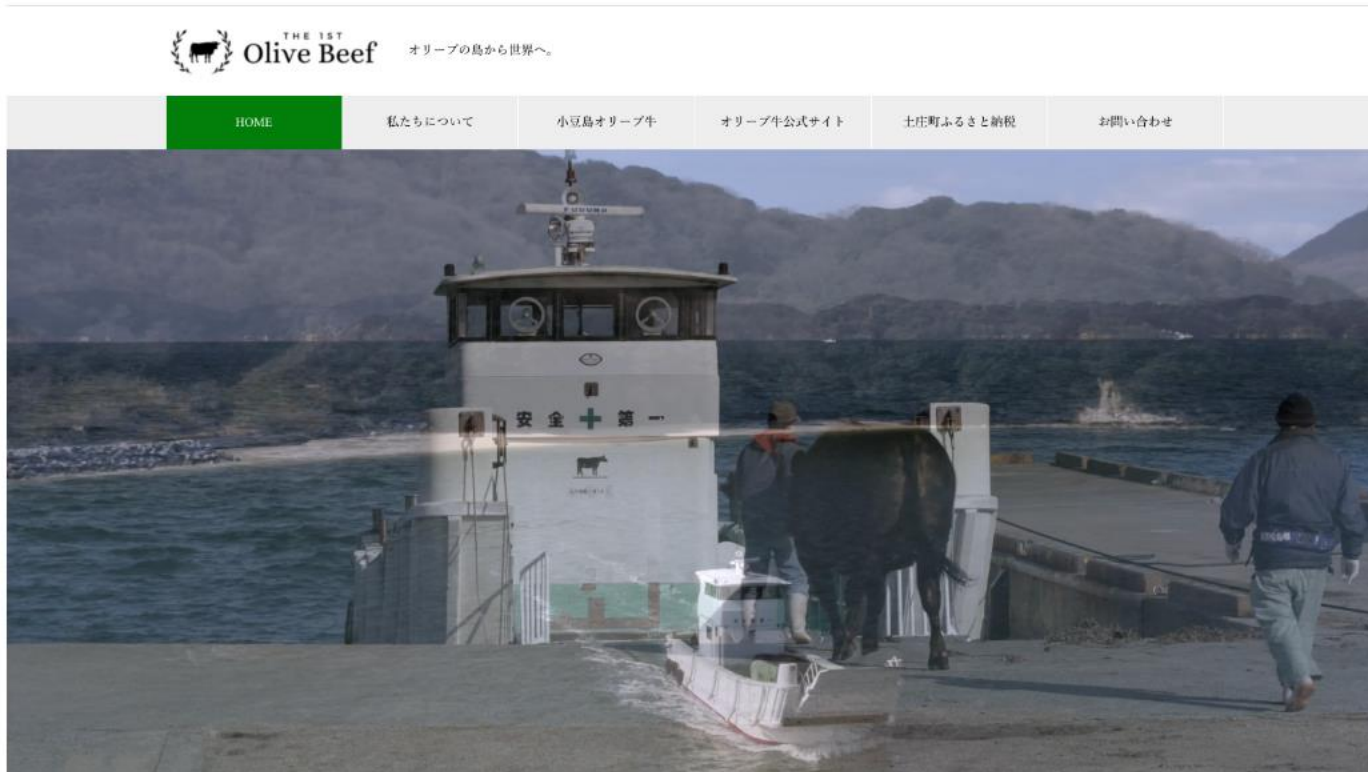
緊急事態宣言が発令され、夏季休暇に小豆島に立ち入ることができなかった。
ゆえに、小豆島の方々に動画を撮影していただきたい場所を伝えて撮影していただいた。



現時点の活動内容②

-HP制作

「小豆島オリーブ牛と一般的な牛の違いはなにか」「畜産家の方はどのような方か」が見えるようにすることに重点をおいた。食べる人に畜産家と牛たちの背景を知った上で小豆島オリーブ牛を食べてもらいたい。



■今後の活動内容

-フィールドワーク

夏季休暇中に行うことができなかったフィールドワークを再度予定している。
12月に小豆島に足を運ぶ予定である。

-プロモーション動画の作成

広報のために使用する動画を撮影し、編集する。
SNS、HP、イベント内で活用する。

-ツアーの実施計画立案

小豆島オリーブ牛を認知してもらうためのツアーを提案する。計画したツアーは、香川と東京圏の大学生対流促進事業のWSとして運営することを検討中。また、学生に対するツアーの運営が安定した後に、一般向けにツアーの実施をおこなうことを土庄町に提案する。